19m06

教育方法論m

班別討議

1目標準拠評価

全体発表

教育方法論 19m 班まとめ　(授業者が書くこと)

第　回

各班ワークシート複数資料用 (まとめ)

1)　(班内)　まとめ

班のテーマ（目標に準拠した評価の意義と展開

■テキスト（新しい時代の教育方法）

まとめ（

・正規分布曲線に基づく相対評価には「ゼロ」をつけてほう

・「5」を取ろうとすると「4」を取っていた人を引きずり降ろさないと

・「5」は取れても本当に身に付いているのか

悪い成績を取れば その人に責任あり.

本来は公民社会を生きるのに必要な学力をすべての子供に

共通の目標へのために共同の条件へ学び合いを推し進める

どのような学力が形成されたのか明らかに.

評価結果を踏まえて教師の反省と子供たちへの援助 本来の

目標への到達のみを点検 → 相対評価と変わらない.

■肯定的 *web*（　　）

まとめ（　　）

・学習指導要領の内容をちゃんと習得したか.

・生徒にとの学習の改善

・上級の学校段階との円滑な接続

・少子化の影響もあり相対評価の妥当性

・

絶対評価 → 達成度 到達度. 目標に準拠

相対評価 → 集団に準拠

■否定的 *web*（　　）

まとめ（　　）

・

・

・

学校の絶対評価を

進路選択の材料にするには

無理がある

■班としての要約

まとめ（　　）

・

・

・

キーワード	10〜20 語	明日中に	概念系統図
・	・	・	・
・	・	・	・
・	・	・	・
・	・	・	・
・	・	・	・

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。

教育方法論 19m 班まとめ　(授業者が書くこと)

第 6 回

各班ワークシート複数資料用 (まとめ)

1)　(班内)　まとめ

班のテーマ（目標に準拠した評価）

■テキスト（新しい時代の教育方法）

まとめ（　何をどう評価するのか.　）

・教育評価」には、相対評価」と「絶対評価」があった。
・「真正の評価論」があり、評価の構成を重視。
・「表現」の選択や「自己評価」の重視により、学習による自己調整を必要とした。

■肯定的 web（www.mext.go.jp/b-menu/へ）

まとめ（学習評価のあり方について　）

・学習評価は学校における教育活動を評価するもの
・「目標に準拠した評価」する為に、評価を取り入れるべき。
・「知識・技能」思考力・判断力・表現力」を踏まえて評価。
・評価とは、自己や客観的に見た性質を知るもの。

■否定的 web（　）

まとめ（評価というものについて　）

・評価というものは、全てが正確であるとは限らない。
・「知識・技能」を評価する際は、客観的に見た方
・「評価参加者」を設けることにより、教師が良い！と子どもが一体化して、物事を行える。

■班としての要約

まとめ（　）

● 評価は、どんぐりの背比べという区画ではもう弘難い。
● 一人の評価のみならず、教員の評価も加味してしかと
× 自分と比較して考える。
● 相対評価、絶対評価というのは、必ずしもどんな状況においても的確とは限らない。

キーワード	10〜20語	明日中に	概念系統図
・目標	・表現力	・曖昧	・
・教育	・相対評価	・目標に準拠した	・
・評価	・絶対評価	・	・
・思考力	・真正の評価論	・	・
・判断力	・客観的	・	・

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ

2形成的評価と自己評価

教育方法論 19m 班まとめ　(授業者が書くこと)

第 6 回

各班ワークシート複数資料用 (まとめ)

1)　(班内)　まとめ

班のテーマ（形成的評価と自己評価　）

■テキスト（新しい時代の教育方法）

まとめ（　　）

・ブルームは「形成的評価」と「総括的評価」から「診断的評価」を追加
・　して分化することが有効なフィードバックが行なえる。
・診断は学習の前提，形成は授業課程，総括は学期・学年における
　評価

自己評価能力はメタ認知やモニタリングといわれている

■~~肯定的~~ web（学習指導要領解説　）

まとめ（　　）

・学習したことの意義や価値感を実感させる
・相互・自己評価でなく主従が目標や課題をもって学習を進め
　ふるような評価がいる。
・形成は 3つの柱の3点から評価

■~~否定的~~ web（教育アセスメント　）

まとめ（　　）

・
・ICTやルーブリックを用いて評価
・テストやアンケートで評価
　第3者に評価してもらう

■班としての要約

まとめ（　　）

・テストでの評価で内容定着しているのかが問題
・ICTやルーブリックは型にはめた評価になっていないか。
・3つの柱から主従自身がどれだけできたかを評価

キーワード	10〜20 語	明日中に	概念系統図
・ブルーム	・形成的評価	・総括的評価	・診断的評価
・フィードバック	・自己評価	・モニタリング	・意義
・目標	・課題	・3つの柱	・テスト
・ルーブリック	・第3者	・	・
・	・	・	・

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。

教育方法論 19m 班まとめ　(授業者が書くこと)

第　回

各班ワークシート複数資料用 (まとめ)

1)　(班内)　まとめ

班のテーマ（ 形成的評価と自己評価

■テキスト（新しい時代の教育方法）

まとめ（　　　　　　　　　　　　　　）

テキストより

・ ブルームの

・ 診断的評価 ー ① → 入学当初、学年当初、授業開始時において、学習の前提となる学習経験や生活経験の実態や有無を把握するために行う。

形成的評価 ー ② → 授業の過程で実施されるもの

総括的評価 ー ③

「真正の評価」とは、「形成的評価」の緊張関係のなかで自己評価の形成をはかろうとする

■肯定的 *web*（　　　　　　　　　　　　）

まとめ（　　　　　　　　　　　　　　）

ネットより

・ 「形成的評価」は「学習のための評価」である

・

・ ・「形成的評価」には宿題や課題なども含まれる。

・ ・学習者の理解状況により、フォローを入れることが可能である

・ インプロセス評価（in-process assesment）とも呼ばれている。

■否定的 *web*（　　　　　　　　　　　　）

まとめ（　　　　　　　　　　　　　　）

・

・

・

■班としての要約

まとめ（　　　　　　　　　　　　　　）

・

・ ブルームが提唱した授業過程で実施される

・ 評価機能

診断的評価

形成的評価

総括的評価

キーワード　10〜20 語　　明日中に　　概念系統図

・診断的	・真正の評価	・	・
・形成的	・自己評価	・	・
・総括的	・フォロー	・	・
・理解	・インプロセス	・	・
・ブルーム	・学習	・	・

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。

■

3パフォーマンス評価・ポートフォリオ評価

教育方法論 19m 班まとめ　(授業者が書くこと)

第 6 回

各班ワークシート複数資料用 (まとめ)

1)　(班内)　まとめ

班のテーマ（ パフォーマンス評価とポートフォリオ評価 ）

■テキスト（新しい時代の教育方法）

まとめ（それぞれに応じた評価方法の開発の工夫が必要

・〈パフォーマンス評価〉

・学び得たことをさまざまなメディアを使って表現させる方式

↓

「活用」の学力をはかろうとする

〈ポートフォリオ評価〉

・日常の学習過程で生み出してくるさまざまな「作品」を蓄積することを大切にする

↓

自分の学習を「自己評価」する力が形成される

パフォーマンス評価のメリットweb

■~~肯定的~~ ~~web~~（ ベネッセ教育総合研究所 ）

まとめ（ ）

・パフォーマンス評価のメリットは、評価者と被評価者の双方が課題に対して明確なフィードバックが得られる

・従来のテストで見えにくい「思考力」「表現力」などが見える

ポートフォリオ評価のメリット web

■~~否定的~~ ~~web~~（ キャリア教育ラボ ）

まとめ（ ）

・ポートフォリオ評価は、過程・プロセスを評価をするため、その人本来の能力を把握しやすい

↓

学習方法や成果をこまめに確認できる

■班としての要約

まとめ（ ）

・子どもたちを評価するのに1つの方法では、評価が偏る

・それぞれメリット、デメリットがある

・それぞれの評価方法で着目するやがちがう

キーワード　10～20 語　　明日中に　　概念系統図

・パフォーマンス評価	・ポートフォリオ評価	・メディア	・活用
・学力	・作品	・学習過程	・日常
・蓄積	・自己評価	・形成	・工夫
・開発	・	・	・
・	・	・	・

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。

教育方法論 19m 班まとめ　(授業者が書くこと)

第　回

各班ワークシート複数資料用 (まとめ)

1)　(班内)　まとめ

班のテーマ（ポートフォリオとパフォーマンス評価

■テキスト（新しい時代の教育方法）

まとめ（　　）

・ポートフォリオ…自分の実績や能力をまとめたもの

・ポートフォリオ評価…ポートフォリオをもとにして様々な指導を行なっていくこと

・パフォーマンス評価…明確に決まっているルールのもとで生徒への指導を行なっていく。

■~~肯定的~~ ~~web~~（ポートフォリオ評価について）

まとめ（　　）

・今までのレポート、課題など行なってきたことに基づいて生徒指導を行うこと。

・完成品よりその学習過程を重視する考え方。

・→プロセス重視。

・「プロダクト評価」ではない。

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。

■

■~~否定的~~ ~~web~~（パフォーマンス評価について）

まとめ（　　）

・子ども自体が学んだ知識・技能を活用させることに重視している。

そのさい、ルーブリックという明確なルール、評価基準に基いて評価を付ける。

■班としての要約

まとめ（　　）

・パフォーマンス評価…学習プロセスを重要視し、個別に指導する。

ポートフォリオ評価…テストでは測れないようなものを結果で評価するその基準はルーブリックを用いる。

キーワード　10～20 語	明日中に	概念系統図
・ポートフォリオ	・パフォーマンス	・学習	・ルーブリック
・検討会	・ポートフォリオ評価	・パフォーマンス評価	・上回能性
・真正の評価	・授業研究	・相対評価	・絶対評価
・自由記述式	・選択回答式	・実技テスト	・プロジェクト
・カリキュラム	・作品(ワーク)	・教育実践	・勝田守一

全体発表（ICT活用例）

教育方法論 19m 班まとめ　(授業者が書くこと)

第　回

各班ワークシート (模擬授業指導案準備)

班で討議したことを書くこと（指導案の要約ではない）

1)　(班内)　まとめ

班のテーマ（　　）

■学年・単元・本時の内容（提示する教材）

全学年、単元は関係なく

■目標、内容・指導の概略等

・わからない生徒やつまずいている子をすぐさま見つけ適宜適応する。

・そのためにリアルタイムで生徒の状態を把握する。

■教材・板書計画、評価の観点・規準等

・教材は生徒ひとりひとり問題解決手元のタブレットを使う。全員指定されたアプリを使う

教師は自分の端末で生徒ができているかを確認する。

■工夫した点、出典等

sky-school-ict.net/class/front/front69.html

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。

4*) 今日の授業のキーワードのうち、班別討議、全体発表での自分自身の発言に用いたものを３つ取

教育方法論 19m 班まとめ　(授業者が書くこと)

第 6 回

各班ワークシート (模擬授業指導案準備)

班で討議したことを書くこと（指導案の要約ではない）

1)　(班内)　まとめ

班のテーマ（ 化学 ）

■学年・単元・本時の内容（提示する教材）

中学校 2年、化学

教科書

■目標、内容・指導の概略等

化学反応式を理解する

○ 生徒が個人でタブレットを用いて考える

↓

○ 班で別れて教える

↓

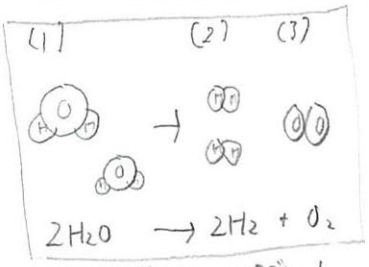
○ 班代表発表させる

↓

○ スクリーンとタブレット連用で説明・解答する

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。

■教材・板書計画、評価の観点・規準等



○スクリーンand タブレット

最初に $2H_2O$ だけ示して、これがどのように分かれるのかをほうだとで示しながら説明していく。

■工夫した点、出典等

最初に分子がどう結合するかを予想させてから答えを示す。

4*) 今日の授業のキーワードのうち、班別討議、全体発表での自分自身の発言に用いたものを 3 つ取りあげ、説明せよ

全体発表（確認問題５）

教育方法論 19m 班まとめ　(発表者が書くこと)

第　回

各班ワークシート (確認問題まとめ)

1)　(班内)　まとめ

各問のポイント

■問 1

関心意欲.能力

■問 2

協同的.授業.素材.教材.
生成.討論 一見 内在
価値 生かし.

■問 3

メディア教育を突き詰めていくと
いずれかは教科書というメディアも
批評の対象化にせざるを
えなくなる

■問 4

パソコンの画像や動画を
大きく映します.電子ペンで書き込める
保存した画像はいつでも取り出せる

2) 問題全体を通して見て、全体のポイントと思ったことをのべよ。

2**) 確認問題に取り組んでみて、確認問題に取り

教育方法論 19m 班まとめ　(発表者が書くこと)

第　回

各班ワークシート (確認問題まとめ)

1)　(班内)　まとめ

各問のポイント

■問 1

- 関心
- 意欲
- 追究心

■問 2

協同的　授業　素材　学習材

生成　討論　一見　内在

価値　生かし

■問 3

メディアを使いこなして自由になると主張する立場と，メディアを制限して秩序を守るという立場の相反がある

■問 4　メディアリテラシーの素材として教科書を活用する

子どもを新しい発見に導き，知的好奇心を高めさせるために，複数の教科書を比較したり，教科書本文を原典と比較すること。

2) 問題全体を通して見て、全体のポイントと思ったことをのべよ。

2**) 確認問題に取り組んでみて、確認問題に取り